

第 74 期第 2 回男女共同参画推進委員会議事録

日 時： 2018 年 9 月 22 日（土） 10：00～13：20

場 所： 日本物理学会 大会議室（東京都文京区湯島 2-31-22 湯島アーバンビル 4 階）

出席： 野尻（委員長）、遠山（副委員長）、糸井、佐野、曹、中本、永廣、福島、藤井、
細越、山本（以上委員）

テレビ会議出席： 藤原、市川

板倉、鹿野（以上オブザーバー）

根岸、宮野、岡村（事務局）

欠席： 青柳、高安、間宮

配布資料：

1. 前回議事録
- 2 と 3. 託児室、ランチョンミーティング
- 4-1. 夏の学校 2018 開催要項
- 4-2. 夏学パンフ
- 4-3. 夏学ホームページ
- 4-4. 第 14 回女子中高生夏の学校報告
6. 日物応物連絡会の報告
7. 2019 年予算（男女共同参画推進委員会）
- 9-1-1. 16 期からの引継ぎ資料
- 9-1-2. 15 期より引継ぎ
- 9-1-3.（予想含む仮案）幹事学会事務局カレンダー
- 9-1-4.（仮案）メール処理検討
- 9-2. 第 16 期第 3 回運営委員会報告
- 9-3. 第 17 期学協会連絡会幹事タイムスケジュール・分担

【議題】

1. 前回議事案の確認

委員会終了まで各自で確認をし、変更点無しとして承認された。

2. 物理学会の託児室について

資料に沿って 2018 年秋季大会託児室について報告があった。

- ・ 託児室の業者は、2018 年春の大阪大学開催時に実績のあった「子ども情報研究センター 保育部ももぐみ」をお願いをし、申込者数は 8 家族 9 名だった。場所は、本部前の廊下の奥にあったことと給湯室のすぐ横にあり利便性、安全面で申し分のない場所であった。

- ・大会担当者より秋季大会（素核宇）での託児室利用者が2年連続で無かったことから、設置方法等について検討依頼があり意見交換され、託児室設置準備の時期と利用申込時期のズレがあるなどの課題があるため、次回委員会の継続審議とされた。

3. 来年春のランチョンミーティングについて

資料に沿って2019年年次大会の実施に向けて以下の意見交換がされた。

- ・弁当の数は40個とし、開始時間を遅くする。大会会場にポスターを掲示するほか、領域メーリングリストを活用し、出来る限り広く広報する。
- ・ランチョンミーティングの内容として、九州大学の男女共同参画の取組みを紹介してもらうこと、同大の玉田薫氏に講演者の紹介をお願いすることが確認され、今後は担当委員で進めていくこととした。
- ・講師の登録費・旅費の負担、ポスター掲示については事務局で確認することとなった。

た。

4. 夏学について

資料に沿って、2018年夏学の報告がされた。

- ・今年度は、寄付金と参加費で開催するためプログラムをスリム化し、生徒100名・TA30名で開催された。台風対応、病人対応など予想外の事態が発生したが、どうにか無事に終了した。
- ・今年度は公式ホームページを作成し、パンフレットも作成・配布された。来年度からはNPO法人を設立して実施する予定であるが、NPO法人の定常的運営資金、夏学のイベント資金調達が課題であることが報告された。
- ・今年度、他の学協会は「後援」で参画したが、物理学会は支援金を拠出する関係から「共催」で参画した。次年度以降の参画の仕方についてはNPO法人の要請を踏まえ検討し、理事会に諮ることとなった。

5. 関西科学塾について

来期の委員について、以下の意見交換が行われた。

- ・昨年より関西科学塾コンソーシアムとして設立され活動を始めた。
- ・今年度、開催されたイベントの途中報告として、第1回は、2018年7月30日京都大学で講演会がA日程で開催。第2回は神戸大学の練習船「深紅丸」をB日程で見学。9月中旬に大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学で中高生向け実験実習講座を開催。10月に奈良女子大学、神戸大学で実験講座を開催されることが報告された。

6. 日物応物連絡会の報告

日物応物連絡会について、以下の報告があった。

- ・第12回日物応物連絡会が2018年10月2日（火）に日本物理学会4階大会議室で開

催予定である。

- ・APPC2019が2019年11月17日~21日までマレーシアで開催される予定で、物理学会からは2名の参加を予算に計上している。発表内容・担当は応物とメールにより連絡調整することとなった。

7. 2019年予算について

2019年予算案に基づき、以下を追加することとして承認がされた。

- ・茶話会弁当代：1,000円@×40名を追加。
- ・国際会議予定：APPC14（マレーシア）に2名参加することとし、旅費300,000円、参加登録費100,000円を追加。

8. 来期の委員について

来期の委員について、以下の意見交換が行われた。

- ・学協会連絡会の幹事学会を担当するので、出来る限り委員の交替は避けたいが、諸事情もあるので数名程度の交替は必要と考えている。
- ・女性委員が多いので男性委員を意識的に補充するようにしたい。なお委員の任期は、規定的には男性委員は1期2年、女性委員は2期4年がスタンダードである。
- ・次世代育成という観点から、物理教育学会関係から1名は委員を入れて欲しい。
- ・元会長の藤井委員の任期も原則では今期限りなので、藤井委員から後任候補に打診をする。

9. 学協会連絡会の幹事学会の進捗報告

9-1. 第16期幹事学会から第17期幹事学会への引継ぎ業務について

- ・資料に沿って期の切り替わり（本年10月31日）までに行う作業と、それ以降1年間を通して発生する業務の確認をした。
- ・今後は、Google フォームを活用して作業を効率化する。

9-2. 第16期学協会連絡会第3回運営委員会について

- ・標記について、2018年8月24日に建築会館ホールで開催されたことが資料に基づき報告された。

9-3. 第17期学協会連絡会のタイムスケジュール、体制等について

<タイムスケジュール>

- ・2018年9月から2019年10月までの予定が説明され、10月13日のシンポジウムで2019年シンポジウムの日程・場所を公表するなどが確認をした。

<体制>

- ・幹事学会の体制として、担当ごとの業務と仮メンバーが提案され、議論された。
- ・分担については次回、さらに詳細な体制を構築することとなった。

- ・アンケートの英訳は毎回依頼している業者に委託し、WG としてはチェック等を行う。

<日程>

- ・17期第1回運営委員会 12月10日(月) 15:00-17:00 東大駒場数理科学研究科講義堂に16期委員長が出席可能か確認する。
- ・第2回2019年3月25-29(月-金) 15:00-17:00 について場所確保を確認する。
- ・第3回2019年8月27-31日(月-金) 15:00-17:00 について場所確保を確認する。
- ・2019年シンポジウムお茶大の会場は、11月ごろに確定する予定。
- ・2018年シンポジウムで川村会長が挨拶をされることが確認された。
- ・運営委員会後のWG用の部屋を2部屋ほど確保する必要がある。
- ・現幹事学会の中では学協会連絡会を法人化するという案も出ているが、これを物理学会がどのように引き継ぐかは今後検討する。

9-4. 2018年10月13日(土)シンポジウム担当案について

- ・後日、当日10名の参加者のメインとサブ担当の割振案を作成する。(議事録の作成、ポスター作成、午後のシンポジウムの議事録作成、パネル討論など)

9-5. 12月の学協会連絡会第17期第1回運営委員会について

- ・第1回運営委員会(12月10日)の準備・当日の用務について確認をした。

9-6. 来年のシンポジウムについて

- ・午後の講演とメインのセッションのテーマについて意見交換をした。
- ・夏学や関西科学塾の振り返り、国際的に見た男女共同参画、ダイバーシティ推進、名大の男女共同参画の取組み、Unconscious bias、などが上げられた。
- ・今後はスラックで議論を募り、シンポジウム当日に意見交換をすることとなった。

10. 男女共同参画推進委員会ホームページの更新について

- ・委員名簿、委員長メッセージ、議事録、ランチョンミーティングを担当委員が更新することとする。公開用の議事録は、委員長が確認をする。

以上